

南信州広域連合第9回広域連合会議 結果報告

日時：平成25年12月13日(金)14:10~15:13

場所：長野県飯田合同庁舎 502・503号会議室

1 開 会…14:10

【出席者】14市町村長(高森副町長)

〔長野県〕野池観光部長

〔下伊那地方事務所〕石田所長・松田副所長・丹羽地域政策課長・石田リニア推進主幹

〔飯田保健福祉事務所〕小椋総務係長

〔飯田建設事務所〕山岸所長

〔飯田市〕秦野企画部企画調整係長

〔町村会〕山田事務局長

〔飯田広域消防〕山田消防長・桂消防次長

〔飯田環境センター〕園原庶務係長・北原専門主査

【事務局】金田事務局長・渡邊事務局参事・吉川事務局次長・小林事務局次長補佐兼介護保険係長・北原事務局次長補佐兼庶務係長・近藤広域振興係長・片桐庶務係主事

2 広域連合長あいさつ

年の瀬も押し迫ってきている中、こうしてお集まりいただきありがとうございます。本日は、県の観光部長さんから「信州首都圏総合活動拠点」についてご説明をいただく。また、リニアの将来を見据えた地域づくりに関係する、広域道路網計画(素案)に対する意見の提出についてもご意見をいただく。

地域にとって、様々なことが具体的に動き出してきているが、一つ一つ丁寧に考えていくために、この連合会議の場でも活発な意見をいただきたい。

3 長野県観光部から「信州首都圏総合活動拠点」に係る説明

…資料による説明(野池観光部長)

11月の県議会で「信州首都圏総合活動拠点」に関する補正予算の議決をいただいた。昨年5月から、「首都圏で長野県のことを発信する拠点を整備しよう」ということで検討を進めてきたが、良い物件に巡り会った。場所は銀座三越のある中央通りと平行する、すずらん通りの中程で、来年3月に竣工予定の「すずらん銀座5丁目ビル」である。1F、2F、4Fを賃借し、3Fは「長野県ゆかりの飲食店を」というオーナーの要望があり、現在交渉を進めている。

この拠点は、「オール信州活動拠点」として、県、市町村、企業がみんなで利用できることが大事な柱の一つ。継続的かつ双方向で信州と関わりを持つ人を増やしていきたいと考えた。現在、有楽町にある東京観光情報センターもこちらに移転させる。シェアすることがキーワードになっており、「しあわせ信州シェアスペース」という仮称が付けられているが、皆さんのご意見を伺いながら正式決定していく。

1Fは物販スペース。各製品の持っているストーリーを語る場にするともに、外商、ネット販売、及びカタログ販売を組み込んでいきたい。2Fはキッチン・イベントスペース及び観光PR、移住交流・就職相談スペース。料理教室などを通して長野県の強みである「生鮮」をアピールする。4Fはビジネススペース。市町村や企業が商談会等に利用できる。また、長野県という切り口でビジネスを考える人も利用可能。

運営費は平年ベースで1.3億円。初期投資は保証料や長野県仕様にするための追加工事費等、1.4億円。県内各種団体から知事宛に提出された要望書の最後にもあるとおり、市町村単位だけでなく広域圏での活用、比較的小さな市町村でも活用できる工夫、企業や団体のPRの場としての活用という3点について、現在検討を進めている。来年6月にオープン予定であるので、ぜひ活用していただきたい。

【質疑・意見】

- ・市町村と関係するNPOとの打合せ場所として利用できるのか、という質問に対し、2Fと4Fが利用可能で、特に4Fはオープン、クローズ、両方のスペースがあるとの回答。
- ・長野新幹線と言っても首都圏の人がイメージするのは東北信。南信州をより意識的にアピールする取組を望むとの意見が出された。

4 協議事項

(1) 南信地域広域道路計画（素案）に対する意見の提出について（資料1）

…資料による説明（金田事務局長）

前回の会議で、素案に対する意見の提出についてお示しした。その後、各市町村から出された意見に、議会の建設・産業・経済検討委員会の中で議員から出された意見を加えて、資料1にまとめた。意見については、広域連合で集約することなくそのまま検討委員会事務局に提出する。

○意見の概要

- ・リニア駅と座光寺PA辺りを結ぶ路線も交流促進道路とすべき。
- ・生活関連道路として位置付けられた松川大鹿線は、松川インター大鹿線と同等の生命路線及び代替路線であるため、地域形成道路とすべき。
- ・松川ICから広域農道を経て153号線へ繋がる道は交通量が多いため、地域形成道路に。
- ・天竜河原地帯を走る農免道路を地域形成道路に。
- ・矢筈トンネルから国道153号線を結ぶ地域形成道路として国道256号線が挙げられているが、上飯田線及び下條米川飯田線を計画に載せるべき。飯田東ICから遠山郷に線が引かれているが、現在通行不能区間であり現実性に乏しい。
- ・飯島飯田バイパスと国道153号線を結ぶ主軸については、先に飯田市が公表した都市構造の内環状線との整合がとれる位置（リニア線の南側）にすべき。（議会検討委員より）
- ・その他として、市町村等も参加する協議の場を求める意見、計画の促進等に関する意見等。

【質疑・意見】

リニア駅周辺のことばかり重点的に考えるのではなく、地域全体のことを十分に考えた計画の作成を望むとの意見が出され、山岸建設事務所長からは、道路整備の優先付けをしたわけではなく、整備する上での分類であるとの補足説明があった。

(2) 国土交通省への地域協働推進事業の申請について（資料2）

…資料による説明（近藤広域振興係長）

今年度創設された公共交通の補助事業であり、本日確認されたら順次申請していく。

地域協働推進事業の対象となるのは、地域の関係者の協働により行う利用促進に係る事業であり、メリットとしては利用促進に係る補助を受けられること、現在補助金を受けていない既存路線に関し、特例措置が認められることが挙げられる。補助率は1/2、期間は最大2年間。

南信州地域交通問題協議会として申請していく事業は次のとおり。

- ・停留所の路線図、案内板の設置…平成25年度西部地区、26年度北部地区
- ・時刻表の作成…飯田市他7町村
- ・利用転換に関するワークショップ（勉強会）…西部地区、天龍村、大鹿村
- ・協議会ホームページの機能強化…平成26年度
- ・バス停や駅の環境美化…平成26年度

申請時期は12月中旬を予定しており、協議会で一括申請する。12月2日に行われた幹事会で協議し、委員に書面決議を依頼してある。

先述した特例措置とは、運行経費の補助を受けることができるものであり、生活交通ネットワーク計画に地域協働推進事業の内容を盛り込むことで認められる可能性がある。天龍村内及び大鹿村内の路線が対象として想定される。申請を行い26年度からの補助を目指す。

【質疑なし】

(3) 「南信州地域づくり大賞」の共催依頼について（資料3）

…資料による説明（北原事務局次長補佐）

下伊那地方事務所が平成18年度に創設し、地域づくり活動を地道に続けている団体・個人の表彰を行うもの。昨年も共催している。

【質疑なし】共催が承認された。

5 報告事項

(1) 信州木曾看護専門学校の地域特定推薦志願数について

…口頭説明（金田事務局長）

11月29日の締切り時点で複数の応募があり、10日に選考を行って推薦したところである。初年度ということで、協定の締結、要綱の策定等したためきたが、順調に推薦することができた。次年度以降は、もっと早い段階で募集要項が決まってくると思われるので、それに従って進めていきたい。

【質疑なし】

(2) 飯伊地区看護師等確保対策推進協議会の設立について

…資料による説明（金田事務局長）

飯田医師会を中心とした関係団体と、看護師等確保対策の推進を行う検討の場として協議会が設けられた。構成団体として飯田医師会、飯伊地区包括医療協議会、唯一の養成機関を持つ飯田女子短期大学、県看護協会飯田支部、オブザーバーとして飯田保健所も参加いただく。規約等は定めない。

当面する活動として7つ程確認しているが、その内広域連合の関係として、衛生看護学科の設置検討、ナースバンク登録事業の推進、医療職の就職ガイダンスへの開催協力、准看護師養成機関を持つ上伊那医師会との連携、奨学金制度創設についての協議が挙げられている。それぞれの団体が主体となって担当課題を検討していくが、状況に応じ事務局会議、全体会議を開催する。

…松島環境・福祉・医療部会長補足

この協議会の設置をもって、プロジェクトを終了し、結果をまとめて1月の全体会で報告する。

【質疑なし】

(3) 「南信州農産物（市田柿）の高付加価値化」による新商品「贅沢な実」について

…資料による説明（近藤広域振興係長）

広域連合と愛知大学で「市田柿の若者に対する販売」というテーマで取り組んできたが、今年度の元気づくり支援金をいただく中で、「贅沢な実」という商品名で販売することになった。

昨年度に研究成果の発表が行われ、今年度は具体化すべく、中京圏の高品質な食品を扱う店舗での販売を目指し、商品開発及び商談を行ってきた。パッケージができあがり、12月8日に報道発表を行った。店頭小売価格は1個298円と強気の設定ではあるが、学生曰く「市田柿を知らない若者に、高級スイーツとして提案したい」というコンセプトによりこの価格となった。市田柿との出会いの場になればとの思いである。

現段階での販売は、愛知大学の生協、南信州・飯田産業センター売店、ネットショップに限られている。中京圏の高品質スーパーと商談中であり、昨日、高級スーパーの成城石井との取引が決まった。南信州を代表する季節の商品として、出張等でのお土産にお使いいただければと思う。

【質疑・意見】

せっかく販売するのであれば、厳選して良いものを提供した方がよいとの意見が出された。

6 長野県

下伊那地方事務所から

…資料による説明（丹羽課長）

(1) 第8回「南信州地域づくり大賞」の候補者募集について

会議の中で、共催について承認いただいた。各市町村の担当課にもご協力をいただくことになる。応募期間は12月6日から12月26日まで。表彰式は1月24日に行われ、特別審査員として峰隆太さんをお招きする予定。

(2) 「地域発 元気づくり支援金」平成26年度事業の募集について

昨年と大きな変更はないが、重点的に推進するテーマ③の雇用促進・就業支援の中に「女性」という言葉が加わった。募集期間は平成26年1月6日から2月3日まで。説明会を12月18日の午後1時30分から合庁の3階講堂で開催する。ぜひこの事業を活用し、地域の元気を生み出すモデル的かつ発展的な取組を展開していただければと思う。

【質疑なし】

7 今後の日程

1月15日（水） 1月広域連合会議

8 閉会…15:13